

1. 基本情報

- (1) 国名：ホンジュラス共和国
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：コマヤグア県コマヤグア市
- (3) 案件名：コマヤグア市給水施設拡張計画（Improvement and extension of water supply system in Comayagua）
- (4) 事業の要約：本事業はコマヤグア市において、浄水施設の建設を含む上水道施設の整備・拡張、送配水管の漏水削減に関する技術支援を実施し、運営コスト抑制のための小水力発電設備を設置するもの

2. 事業の背景と必要性

- (1) コマヤグア市の開発の現状・課題及び本事業の位置づけ

コマヤグア市は、ホンジュラスの重要な流通経路となるドライカナル（ロジスティック回廊）沿いに位置する交通の要所であり、その肥沃で高い農業ポテンシャルから、近年、農業を中心に経済開発が進んでいる。交通・物流のインフラ整備が進む一方、著しい人口増加により同市中心部の人口は約 80,000 人に上り、生活インフラの整備が追いついていない。同市の水道インフラについては、水需要が年平均約 8%（2010 年～2012 年）と急増している反面、施設の老朽化に加え、50%といわれる高い漏水率の影響で、一日の給水時間が 9～12 時間と限られている。現在、稼働している浄水場がないことから、表流水に塩素消毒を施す簡単な処理のみで配水している状況にあり、衛生面の深刻なリスクも懸念されている。また、国家上下水道公社（SANAA）から同市への水道事業移管に伴い新設された市営水道公社「コマヤグア水サービス」の財政状況は、人員整理等の取り組みにより 2011 年には黒字に転換したものの、未だ施設の点検・修理等の維持管理費へ十分な資金手当てはできておらず、上水道サービスの持続性確保の観点から、引き続き財務状況の改善も課題となっている。

今回要請された「コマヤグア市給水施設拡張計画」（以下「本事業」という。）は、浄水施設の建設を含む上水道施設の整備・拡張、送配水管の漏水削減に関する技術支援を実施し、運営コスト抑制のための小水力発電設備を設置することで、水質や衛生環境の改善及び上水道事業運営にかかる財務状況の健全化を図るものである。本事業は「国家ビジョン 2010-2038」及び「国家計画 2010-2022」において水・衛生セクター開発を重点分野に掲げ、「安全な水の確保」、「水資源の有効活用」を重要課題と位置付けている同国の政策に合致する。

- (2) ホンジュラスに対する我が国及び JICA の協力方針等と本事業の位置づけ

我が国の対ホンジュラス国別援助方針では、「地方開発」が援助重点分野とされており、また、JICA の対ホンジュラス国別分析ペーパーでも、「貧困問題の緩和と地域経済の活性化」が協力重点分野とされ、地方部における給水施設等、基礎的社会インフラ整備が必要と分析されている。水道インフラ改善によりコマヤグア市の開発を促す本事業は、これらの方針に合致する。

- (3) 他の援助機関の対応

世銀は「上下水道分野近代化計画（PROMOSAS）」（第 1 フェーズ：2008-2013 年/30 百万ドル、第 2 フェーズ：2014-2015 年/10 百万ドル）を通じ、市営水道公社「コマヤグア水サービス」に対し運営に係る技術協力に加え、小規模水道施設建設等を実施中。現状については、協力準備調査にて確認する。

（４）本事業を実施する意義

本事業は、ホンジュラスの国家政策及び我が国及び JICA の協力方針とも合致しており、我が国として本事業の実施を支援する必要性及び妥当性は高い。また、本事業は、表流水に塩素消毒を施すのみという劣悪な衛生状態にあるコマヤグア市の給水状況を改善するものであり、同市民の衛生環境の改善と安全の確保という高い必要性が認められる。さらに、同国経済はコーヒー等農業に対する依存度が高いなど経済的脆弱性があり、地方都市の給水を行う本事業のような社会セクターに関しては、引き続き無償資金協力による実施が必要。

3. 事業概要

（１）事業概要

① 事業の目的：本事業は、ホンジュラスの流通の要所であるコマヤグア市において、浄水施設を含む上水道施設の整備・拡張、及び送配水管の漏水削減に関する技術支援を実施し、併せて運営コスト抑制のための小水力発電設備を設置することで、水質や衛生環境の改善及び上水道事業運営にかかる財務状況の健全化を図り、もって同地域の持続的な経済開発に資する。

② 事業内容

- 1) 土木工事、調達機器等の内容：【施設】新規浄水施設（処理能力約 200L/s）、配水池、送水管等【機材】小水力発電設備（最大発電出力約 130kw）等 これらの詳細に加えて、配水管交換の要否も含めて、協力準備調査にて確認。
- 2) コンサルティング・サービス/ソフトコンポーネントの内容：送配水管の漏水削減に関する技術支援等。詳細は協力準備調査にて確認。
- 3) 調達・施工方法：協力準備調査にて確認。

③ 他の JICA 事業との連携：コマヤグア市を中心とした自治体の水道事業運営能力強化のための専門家派遣案件を形成中。また、無償資金協力「テグシガルパ市内給水施設小水力発電導入計画」（実施中）との連携の可能性を協力準備調査にて確認。

（２）事業実施体制

- ① 事業実施機関／実施体制：実施機関は国家上下水道公社（SANAA）。（実施体制については協力準備調査にて確認。）
- ② 他機関との連携・役割分担：他機関による上水道セクターにおける支援との重複がないように調整を継続する。詳細は協力準備調査にて確認。
- ③ 運営／維持管理体制：本事業は完成後、「コマヤグア水サービス」に移管され、運営・維持管理が行われる予定。詳細は協力準備調査にて確認。

（３）環境社会配慮

① カテゴリ分類 ☐A ☒B ☐C ☐FI

② カテゴリ分類の根拠：

本事業は、「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010 年 4 月公布）に掲げる

上水道セクターのうち大規模なものに該当せず、環境への望ましくない影響は重大でないと判断され、かつ、同ガイドラインに掲げる影響を及ぼしやすい特性及び影響を受けやすい地域に該当しないため。

(4) 横断的事項

本事業では、水源地と浄水施設までの自然高低差を利用した小水力発電設備を設置し、同市の水道事業運営にかかる年間消費電力量の大半を賄うことが想定されている。漏水削減による省エネと水力発電による化石燃料使用抑制を通じ、温室効果ガス（GHG）排出削減に貢献することが期待でき、本事業は気候変動の緩和案件と位置付けられる可能性がある。詳細は協力準備調査にて確認。

(5) その他特記事項

協力準備調査にて確認。

4. 過去の類似案件の教訓と本事業への適用

同国の過去の類似案件「テグシガルパ市上水道復旧整備計画（2000-2004）」の事後評価結果等では、漏水管理部の若手技術者が機材納入時の技術研修を受講しておらず、また内部指導を受ける機会も殆どなく、技術力が体系的に強化されていないことが指摘された。本事業では上記教訓を踏まえ、成果の持続性を担保すべく機材研修とともに、財務的持続性確保の観点から水道事業運営に配慮し、特に漏水削減に関する技術支援等を含んだ協力を実施する。

以 上

[別添資料] 地図

